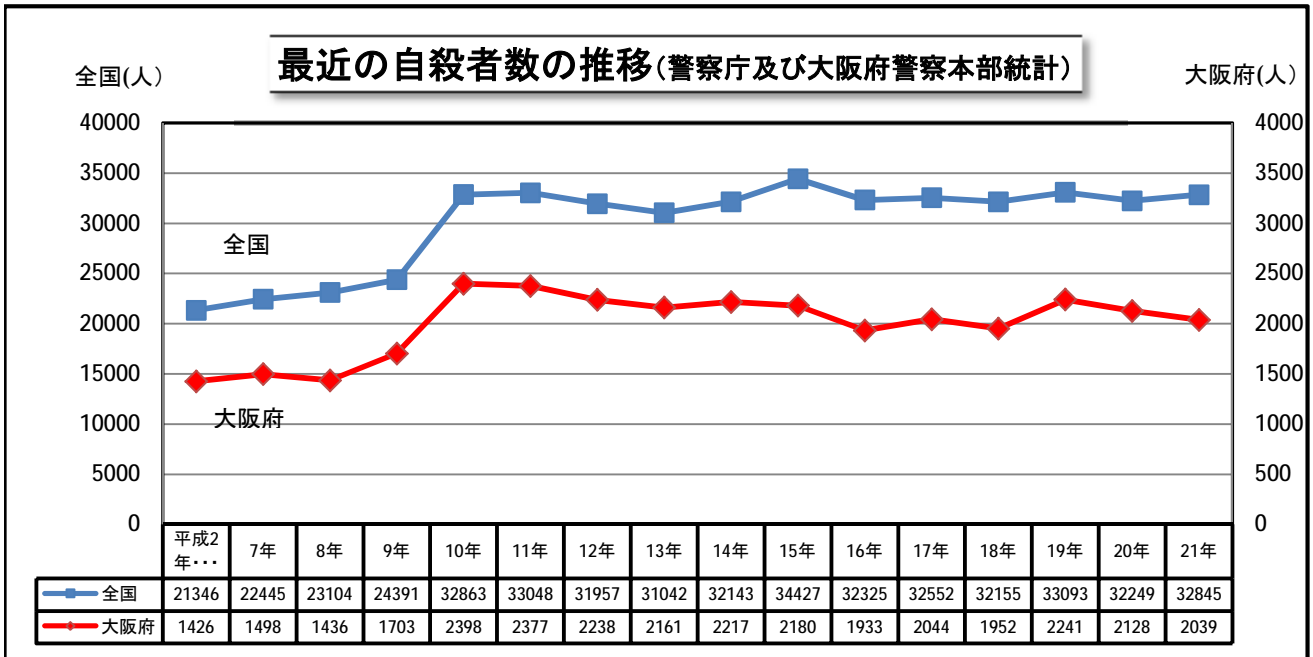
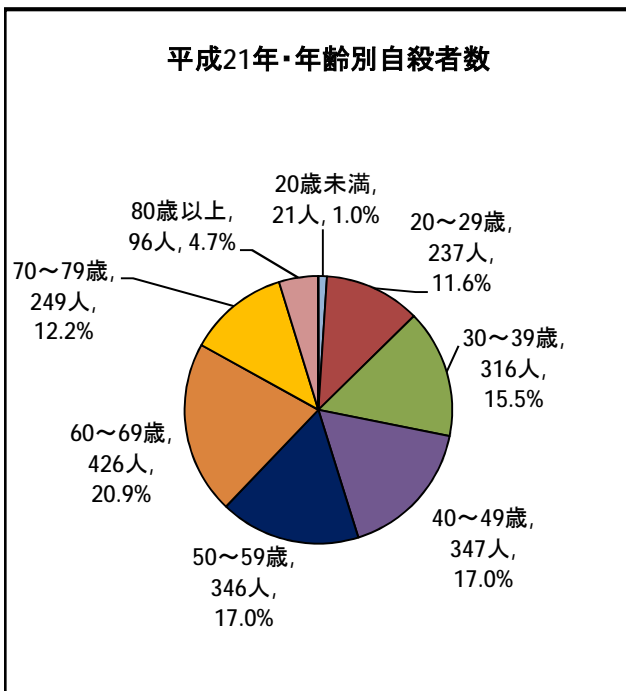


大阪府の自殺の概要<平成21年>

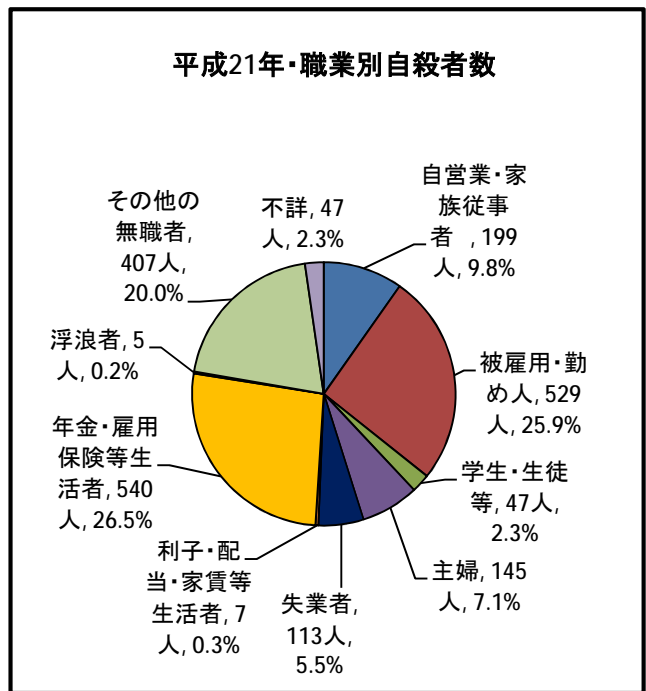
※警察庁及び大阪府警察本部統計



全国の平成23年の自殺者数は32,845人と昨年よりも増加しているが、大阪府の自殺者数は2,039人と減少しています。

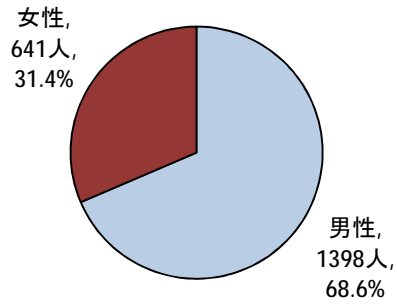


大阪府の平成21年の年齢階層別自殺者数の割合は、60代が426人(20.9%)と最も多く、次いで50代(17.0%)、40代(17.0%)、30代(15.5%)、70代(12.2%)、20代(11.6%)、80歳以上(4.7%)、20歳未満(1.0%)の順になっており、中高年層の割合が高くなっています。



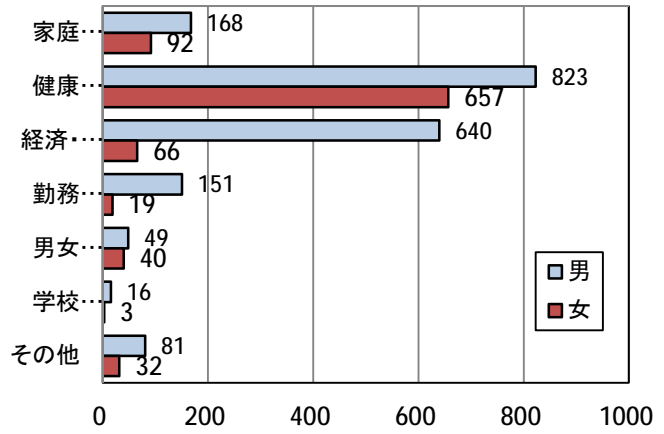
平成21年から自殺統計による職業の分類がさらに細かく改められたことから単純な比較はできないが、「年金・雇用保険等生活者」が540人(26.5%)と最も多く、次に「被雇用・勤め人」529人(25.9%)、「その他の無職者」407人(20.0%)、「自営業・家族従事者」199人(9.8%)、「主婦」145人(7.1%)の順になっています。

平成21年・男女別自殺者数



大阪府の平成21年の男女別自殺者数は男性が1,398人(68.6%)、女性が641人(31.4%)と昨年と比較して大きな変化は見られません。

平成21年・原因動機別自殺者数 (複数回答・1,921人)



平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできないが、「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」「勤務問題」「男女問題」においては平成19年から徐々に増加傾向にあります。「学校問題」については、男女各数・総数ともに平成19年～20年に増加したのち、平成21年で減少が見られています。